

事後評価に対する意見一覧（河内長野市上下水道事業 経営懇談会委員より聴取）

2.「河内長野市下水道における安全・安心な都市計画の確保(その2)(防災・安全)」について

2-1.計画の成果目標(定量的指標)の設定および事業の効果について(評価指標の実現状況、事業効果の発現状況等)

40年以上経過している管のうち、予定していた地域の調査判定が完了、優先順位をつけ改築更新できたことを評価する。また長寿命化計画策定率も大幅に向上したことはうれしい。

指標の選定ならびに目標値の設定については妥当なものであったと認められる。

河内長野市の上下水道事業ビジョンでは、「安全で安心な下水道」において施設の長寿命化・災害対策の強化という目標における重要項目の一つとして管路の耐震化率を掲げている。今後は本計画の目標に管路の耐震化率の向上も検討の余地があるのではないかと。

災害対策としてマンホールトイレの整備に期待します。仕事で堺市の公共施設での設置の手伝いをした事があります。区役所、小学校などでの工事が多かったです。

2-2.計画の要素事業の達成状況について(要素事業の進捗状況等)

計画時の対象地区と隣接する地区の一部を事業の効率化のため調査を行ったことで、目標値を上回ることができたことは評価したい。
包括的維持管理行務受注者に発注したことにより、下水道ストックマネジメント計画や地震対策計画の事業費が抑えられたことはよかった。
ハザードマップ作製はおおいに評価したい。自分の住んでいる地域の状況を視覚的に認識できることで防災意識の向上にもつながる。

延長・金額を比率表示にして頂くとわかりやすいのでは？

当初計画通りには実施されなかった内容が含まれるものの、それらは計画策定時に正確に見積もることが困難な内容であったと考えられる。そのため、実績・内容の達成状況については妥当なものであったと認められる。

執行体制や財政上の制限から令和2年度以降での整備とした路線があるが、今後は執行体制（人員配置等）を確保し、また財政上の対応（工事量に見合う工事事業費予算）を検討し、事業に遅くれないようにすべきでないかと。

新技術を用いて進めていく事はいいと思います。日々、新しいことに目を向けて行ってください。

2-3.その他(今後の方針等)

マンホールトイレは市内の避難所に設置計画と知りました。ぜひ早急に行われることを願います。また隣の大阪狭山市ではすでに指定避難所14カ所に設置されているとのこと。河内長野市でも今後増やして頂けるようお願いいたします。国土交通省「B-DASHプロジェクト」に採択されていることを知りました。これにより事業費の一部がコストダウンになっていることが分かりました。もっと市民にもアピールされたらと思います。今後も安心・安全の住みやすい河内長野市になるよう、ご尽力いただけますようお願いいたします。

マンホールトイレの整備が進むことを希望します。
郊外に簡易の常設トイレの設置はいかがでしょうか（ハイキングコース等に）

人員体制や労務費の変動を正確に見積もることが困難だと考えられるが、過去数年間の傾向から予測をたてることも検討されたい。

「事後評価（案）」の「○事後評価の実施体制、実施時期」での実施体制では、庁内の評価体制についても記載してはどうか。
「社会資本整備総合交付金に係る計画等（抜粋）」の事後評価5において、地方公共団体独自の評価制度を活用することできるとの記載があるので。

老朽施設の改築更新が予定通り進んだのは結構なことですが、それをもって「下水道管路の破損等による事故を未然に防ぐことができた」と総括するのは違和感があります。想定を超える災害に見舞われたときに下水道としてどう対応するのか、ひいては河内長野市の公衆衛生をいかに維持するか（汚水の場合）を考え、今後の方針や事業計画等に反映させていただければと思います。